

令和 8 年 8 月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和 8 年 8 月 2 8 日(金)午後 2 時 0 0 分開会
午後 3 時 4 0 分閉会
三田市役所 南分館 6 0 1 会議室

○議事日程

日 程 第 1	開会	
日 程 第 2	前回会議録の報告、承認	
日 程 第 3	会議録署名委員指名	
日 程 第 4	会期の決定	
日 程 第 5	教育長の報告	
日 程 第 6	議事	議案第 2 2 号から議案第 2 4 号
日 程 第 7	報告事項	報告第 2 0 号から報告第 2 5 号
日 程 第 8	その他	

○会議に出席した委員（3 名）

1 番	加 嶋 幸 彦	2 番	大 野 裕 己
3 番	三 木 尚 美		

○説明のため出席した者（1 2 名）

学 校 教 育 部 長	山 本 直 也	学 校 教 育 部 次 長	井 上 久 敏 (兼学校再編担当)
学 校 教 育 部 次 長	久 保 修 一	教 育 総 務 課 長	上 月 研 一 (兼教育総務課担当課長)
学 校 再 編 課 長	橋 本 純 子	学 校 教 育 課 長	神 戸 康 正
学 校 教 育 課 担 当 課 長	市 原 敦	地 域 ク ラ ブ 推 進 課 長	藤 田 崇 宏
教 育 研 修 所 長	西 浦 健 司	学 校 給 食 課 長	宮 城 信 之
幼 児 教 育 振 興 課 長	神 影 保 緒		

三田市立ひまわり特別支援学校高等部教科用図書選定委員会
委 員 長 清 山 孝 利

○代表学校長 （2 名）

中学校校長会代表	藤 井 許 善
小学校校長会代表	足 立 延 也

○会議に関係した
事務局員（３名）

教 育 総 務 課 齊 藤 健 史
 上 仲 あ さ 美
 清 家 梨 奈 子

○会議録署名委員

教 育 長 加 嶋 幸 彦

教 育 委 員 三 木 尚 美

日程第１ 開 会

○教育長
（加嶋 幸彦）

ただいまから令和８年８月第３３５回三田市教育委員会定例会を開会
いたします。

日程第２ 前回会議録の報告、承認

○教育長
（加嶋 幸彦）

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
（上月 研一）

（令和８年７月３０日教育委員会定例会会議録により説明）

○教育長
（加嶋 幸彦）

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第３ 会議録署名委員指名

○教育長
（加嶋 幸彦）

それでは、会議録署名委員の指名に移ります。
会議録署名委員は、３番 三 木 尚 美 委員にお願いします。

日程第４ 会 期 の 決 定

○教育長
（加嶋 幸彦）

会期は本日一日、令和８年８月２８日金曜日午後２時００分開会と
いたします。

日程第５ 教 育 長 の 報 告

○教育長
(加嶋 幸彦)

今年の夏は、三田市でも連日猛暑日となり、熱中症を警戒しなければならぬ日が続きました。また、熊本県では震度7を記録する大規模な地震、千葉県では豪雨に見舞われました。被害に遭われた皆様の、一日も早い復旧・復興が実現されますことを心よりお祈り申し上げます。

令和8年熊本地震について、関西広域連合での調整により本市職員が宇城市に派遣されており、EARTH員も現地に派遣されております。学校での教育活動が一刻も早く回復するよう祈るばかりです。

1) 阪神地区教育長会議

7月31日(金) 西宮商工会館にて開催

学校部活動の地域展開について、県教育委員会より現段階の取組についての説明の後、阪神地区の各市町の取組について現状説明がありました。また、自然学校についても意見交換がありました。

2) 三田まつり

8月1日(土) 郷の音ホール・市役所前広場にて開催

郷の音ホールの野外ステージでは、学生や消防など、幅広い分野の皆様が世代を超えて演技を披露されました。会場内には多くの屋台なども設置され、市民の方など大勢の来場者で、終日賑わいました。

3) 第1回三田市総合教育会議

8月6日(木) 三田市役所2号庁舎にて開催

今回は、「三田市立幼稚園の今後のあり方の検討について」をテーマに、市長と教育長及び教育委員が議論しました。令和4年2月に策定された「三田市立幼稚園再編計画」のうち、三田・三輪・松が丘の各幼稚園について、財政ロードマップの保育ニーズや、少子化の進行を背景に、再編計画を部分的に見直す必要が生じたことから、課題整理と今後の方向性について検討を進めます。今回は、三輪幼稚園、松が丘幼稚園の再編計画について、担当課からの説明、保護者や地域との意見交換会を踏まえ、出席者が意見を述べました。

4) 平和を考える市民のつどい

8月8日(土) 三田市総合福祉保健センターにて開催

平和を考える市民のつどい実行委員会（連合兵庫や三田青年会議所などの8団体）と三田市が主催し、平和の意義と尊さを考える機会として毎年実施されている取組で、今年度、市長を来賓に200名を超える参加者がありました。三田市少年少女合唱団とドイツ少年少女合唱団の合唱、ネバーアゲインキャンペーン事務局の塩川葉子さんから、海外で取り組んでこられた平和活動の講演、元関西学院大学総合政策学部の伊東菜月さんが製作された「三田空襲を通じた戦争記憶の継承」と題したドキュメンタリー映画の上映がありました。

5) 全県夏季教育委員会研修会

8月20日(木)、21日(金) ホテル北野プラザ六甲荘
兵庫県教育委員会連合会が主催し、今年度は、本市地域展開委員会の委員長を務めておられる、兵庫教育大学大学院の森田啓之教授による「部活動の地域展開の現状と課題について」の講演、ひょうごっ子幼保小の架け橋教育支援センター長で甲南女子大学の伊藤篤教授による「幼保小の架け橋教育の推進に向けて」の講演、そして、県立但馬やまびこの郷所長で、大阪信愛学院大学の斎藤誠一教授による「不登校生徒への理解と支援の在り方について」の講演がありました。本市からも教育委員の皆様にご参加いただきました。

6) 三田しあわせプロジェクト

8月22日(土) まちづくり協働センターにて開催
三田市人権を考える会が主催し、今年度は、みえ人権教育・啓発研究会代表の松村智広さんを講師にお招きし、「部落差別を考える」をテーマに講演会が開催されました。三重県伊賀市内の中学校教員を経て、三重県教育委員会人権教育課長や中学校校長を歴任され現在に至っておられます。ご自身の経験や気づきをもとに、部落問題の過去から現在について、わかりやすくお話しいただきました。私からは以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは本日の議事に入ります。
冒頭お伝えしましたとおり、議案第22号は非公開として後ほど審議いたします。

	<p>(2) 教育委員会規則及び教育委員会規程の制定又は改廃を行うことについて</p> <p>【三田市教育委員会事務委任規則第1条第11号】</p> <p>議案第23号「三田市立幼稚園預かり保育条例施行規則の一部改正に関する原案の決定について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
○幼児教育振興課長（神影 保緒）	議案第23号「三田市立幼稚園預かり保育条例施行規則の一部改正に関する原案の決定について」事務局から説明
○教育長（加嶋 幸彦）	何かご質問、ご意見等ございますか。 なければこのように承認します。
○教育長（加嶋 幸彦）	つづきまして、議案第24号にうつります。 (3)教科用図書の採択を行うことについて 【三田市教育委員会事務委任規則第1条第15号】
	議案第24号「令和9年度使用三田市立特別支援学校高等部教科用図書の採択について」事務局から説明をお願いします。
○教育研修所長（西浦 健司）	議案第24号「令和9年度使用三田市立特別支援学校高等部教科用図書の採択について」事務局から説明
○三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会委員長（清山 孝利）	<p>「令和9年度使用三田市立特別支援学校高等部教科用図書の採択について」三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会の経過等を資料により概要説明。</p> <p>「令和9年度使用三田市立特別支援学校高等部教科用図書の採択に関する答申」【学校教育法附則第9条の規定による一般図書】について、内容説明。</p>
○教育長（加嶋 幸彦）	何かご意見やご質問等ございますか。
○教育委員	新規分について、指でなぞりながら関心をもてたり、コミュニ

(大野 裕己)	ケーションへの意欲を高める点での工夫がされている図書を選定いただいていると思います。
○教育委員 (三木 尚美)	日本の食べ物から世界の食べ物に広がっていくようすは、興味関心が幅広く持てると思います。身近な食を通じて、興味がどんどん膨らんでいきそうな豊かな学びに有効な本だと思えます。
○教育長 (加嶋 幸彦)	<p>他にご意見等ございますか。</p> <p>なければ採択にうつります。</p> <p>まず、申請がありました資料２７ページの高等学校用教科用図書、資料２６ページの１つ目の※の小中学校用教科用図書（検定教科書）、文部科学省著作教科用図書特別支援学校小・中学部用、２つ目の※拡大教科書等の教科用特定教科書を採択してよろしいか。</p>
○教育委員	(異議なし)
○教育長 (加嶋 幸彦)	<p>次に、資料１１ページからの３８１冊の一般図書についてです。資料２７ページの新規一覧以外の一般図書については、昨年度までに協議され採択されているものです。また、資料２９ページの新規一覧１７冊の中の１５冊については７月定例教育委員会にて協議を行った一般図書ということですので、ここでは１５冊の一般図書を除いた２冊の一般図書について協議するということによろしいか。</p>
○教育委員	(異議なし)
○教育長 (加嶋 幸彦)	では申請書のとおり採択します。
日程第７ 報 告 事 項	
○教育長	続きまして報告事項に移ります。

(加嶋 幸彦)

報告第20号「令和8年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(上月 研一)

報告第20号「令和8年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について」事務局から説明

○教育長
(加嶋 幸彦)

何かご質問等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

報告書と、その中の点検・評価委員の意見を拝読して、今後、新たな教育振興基本計画が策定され、学習指導要領の改訂が進む中で、三田市の学校園全体で、例えばSTEAM教育の推進や、より深い学びの探究等に向けた地域協働が必要になると思いました。また、来年度からは点検・評価の枠組みが変わると伺いましたが、本質として、望ましいこどもの変化や成果とは、現場の教職員のどのような変化や行動でもたらされるのか、先生方がのんびりはどのような事業で促されるのか等をイメージしながら、前進できたところや課題を点検・評価していくことが求められると思います。現場の教職員の効力感や市民の信頼を促す点検・評価に近づけられたら良いと思います。

○教育委員
(三木 尚美)

いじめ問題についてはしっかりと見ていただいていると思います。アンケート調査から、いじめを受けても相談しないと答えるこどもの割合が高いことが気になります。相談できない子がいるという課題に向けた改善も工夫していただいていると思いますが、日ごろからコミュニケーションが活発にとれる学校づくりが大事だと思います。また、一人一人が大切にされる教育にはサポートが重要だと思います。今は、サポートファイルのおかげで、支援が必要だとわかればサポートファイルを手に入れることで、生涯安心できる環境を作ってあげることが可能になるので、周りのサポートによって自立していけるということを考えていただきたいと思います。また、地域ぐるみで育てる環境づくりは、今の時代に必要不可欠な要素だと思います。学校支援ボランティアに入ってくださいことは大変ありがたいことなので、地域の人材を活用しながら、先生方と一緒にこどもの安心できる環境を整えていただき、こども

○教育長
(加嶋 幸彦)

たちの心の安心を大切にしていけたらと思います。

他にご意見等ございませんか。
なければ次に進みますが、報告第 2 1 号は非公開として後ほど報告します。

○教育長
(加嶋 幸彦)

続きまして、
報告第 2 2 号「学校再編の取り組み状況と今後の進め方等について」事務局から説明をお願いします。

○学校再編課長
(橋本 純子)

報告第 2 2 号「学校再編の取り組み状況と今後の進め方等について」事務局から説明

○教育長
(加嶋 幸彦)

何かご質問等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

学校運営協議会で学校再編の説明をされる中で、市からの働きかけがあれば話が進むこともあると思いますが、今後、話し合いをするにあたり、今回の協議会で進め方に対する要望等があったなら教えていただきたいです。

○学校再編課長
(橋本 純子)

学校運営協議会では、小学校がなくなることに対する不安が非常に大きいと感じました。再編対象校 17 校の学校運営協議会メンバーと意見交換を行い、その学校の保護者の皆さまに、小規模の課題や、校区内のお子さんが通う学校の児童生徒数と、中学校区にある小学校の児童生徒数の 10 年間見込んだ人数の推移を示した資料を配布しました。こどもの人数が少なくなっていることも、数字で見せることでより現実的に感じていただけたと思います。現状を踏まえ、まずは課題の大きい中学校の再編から進めさせていただいております。

○教育委員
(大野 裕己)

学校再編は、市民目線において今までと変わることへの不安が非常に大きいものだと思います。説明会等で情報を共有し、双方で丁寧にフィードバックしながら、いかにファシリ

○教育委員
(三木 尚美)

テートしていくかという観点を、教育委員としての思いも含め、今後進めていくことが大事だと感じました。

上野台中学校と八景中学校の再編は、新設校で話が進む一方で、藍中学校と長坂中学校の再編は、初めに話が出てから一時期中断されていた経緯もありますので、あらためて市民の方の思いを大事に進めたいと思います。こどもたちにとっての一年はあっという間に過ぎますし、とても大切な時間だと思いますので、スピード感を持って進めてほしいと思います。

○教育長
(加嶋 幸彦)

他にご意見、ご質問等ございますか。
なければこのように報告します。

○教育長
(加嶋 幸彦)

続きまして、
報告第23号「三田市立学校条例の一部を改正する条例に関する原案の決定に係る専決処分について」事務局より説明をお願いします。

○教育総務課長
(上月 研一)

報告第23号「三田市立学校条例の一部を改正する条例に関する原案の決定に係る専決処分について」事務局より説明

○教育長
(加嶋 幸彦)

何かご質問等ございますか。
なければこのように報告します。

○教育長
(加嶋 幸彦)

続きまして、
報告第24号「三田市立認定こども園条例の一部を改正する条例に関する原案の決定に係る専決処分について」事務局より説明をお願いします。

○幼児教育振興課長
(神影 保緒)

報告第24号「三田市立認定こども園条例の一部を改正する条例に関する原案の決定に係る専決処分について」事務局より説明

○教育長
(加嶋 幸彦)

何かご質問等ございますか。
なければこのように報告します。

○教育長
(加嶋 幸彦)

続きまして、
報告第25号「9月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(上月 研一)

報告第25号「9月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長
(加嶋 幸彦)

何かご質問等ございますか。
なければこのように進めてまいりますので、9月もよろしく
お願いします。

日程第8 その他 の 報 告

○教育長
(加嶋 幸彦)

では、次回、9月の教育委員会定例会の日程について事務局
からお願いいたします。

○教育総務課長
(上月 研一)

9月教育委員会定例会の開催日時は令和8年9月28日
(月)午後2時00分から、南分館601会議室で予定して
います。よろしくお願いいたします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは、各校長からの報告です。中学校代表校長より報告
をお願いいたします。

○中学校校長代表
(藤井 許善)

○夏季休業期間のようす
中学校体育連盟の総合体育大会が終了し、運動部は活動を終
えて、地域クラブの本格的な活動が始まりました。そのた
め、例年の夏季休業期間と比べると、生徒の学校への出入り
は少なく、校内は比較的静かな様子でした。一方で、校舎内

では地域移行に至っていない吹奏楽部や吹奏楽の地域クラブが活動していました。また、教員の兼職兼業の関係から、夕方以降に活動時間を設定している地域クラブもありました。依然として厳しい暑さが続く中ではありますが、熱中症対策を講じながら活動が行われていました。また、地域で開催された夏祭りや地域行事に生徒会役員などが参加し、地域とのつながりを深める機会も見られました。学校外で活躍する生徒たちの姿は地域の方々からも好評であり、生徒の社会性や主体性を育む貴重な経験になったものと考えています。3年生については、自らの進路実現に向けた意識を高める時期でもあり、多くの生徒がオープンハイスクールや学校説明会に参加しました。それぞれが進路について考え、主体的に情報収集を行うなど、進路選択に向けた準備を進めていたと聞いております。

○ 2 学期開始

本日 8 月 28 日は 2 学期始業式でした。登校してきた生徒たちは概ね元気な様子で、久しぶりに学校に活気が戻りました。部活動の地域展開が進んだことで、これまで以上に家族と過ごす時間や、自分の興味・関心のある活動に取り組む時間を確保できた生徒も多かったのではないかと思います。それぞれが有意義な夏休みを過ごし、新たな気持ちで 2 学期を迎えている様子でした。教職員につきましては、この夏季休業期間中も各教科や生徒指導、人権教育、特別支援教育、ICT 活用などに関する研修会へ積極的に参加し、資質・能力の向上に努めました。また、部活動の地域展開が進んだこともあり、従来の夏季休業期間と比較すると、業務と私生活とのメリハリをつけやすい環境が生まれつつあるように感じています。時間的なゆとりは心のゆとりにもつながります。教職員が心身をリフレッシュし、健康な状態で 2 学期を迎えられたことは、学校教育の充実という観点からも意義のあることだと考えています。今後も、働き方改革と教育の質の向上の両立が重要であると考えています。また、2 学期は体育大会、文化祭・合唱コンクール、トライやる・ウィークなど、各校で大きな行事が予定されています。生徒たちが仲間と協力しながら主体的に活動し、一人一人が成長を実感できる機会となるよう、教職員一丸となって準備を進めているところです。生徒にとっても教職員にとっても実り多い 2 学期となるよう、中学校長会として引き続き各校の教育活動の充実に努めます。今後とも中学校教育の充実に向け、ご指導・

ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○小学校校長代表
(足立 延也)

○2学期開始

長かった夏休みも終わり、本日、2学期始業式を迎えました。さまざまな夏の思い出を抱え、登校してきたこども達と久しぶり再開をしました。多くの児童は友達や先生と再会し、元気な挨拶を交わし、2学期を迎えていました。しかし、一方では、2学期のスタートに不安を抱え登校してくる児童もあります。教員とは「あえてスロースタート」と「こどもの声には手を止めて」の2つを合言葉に、始業式を迎えたところです。始業式は1学期の終業式と同様に、オンライン実施の学校も多くあったと思います。しばらくは暑さ対策に気を配り、こどもたちが元気に過ごせるよう工夫した教育活動を進めていきたいと思っております。

○夏季休業期間のようす

夏季休業期間中、各校では、人権教育や特別支援教育、生徒指導や研究推進、学力向上等、さまざまな校内研修会を実施しました。また、各校長が個々の教員の目標設定に基づく研修奨励を進め、教育研修所主催の「授業づくり講座」をはじめ、様々な研修の機会をとらえ、各教職員が自身の指導力向上に向けた学びに努めることができたと思っております。また、各中校区ではこの時期、校種を越えた教員の共同的な学びも展開されています。八景中学校区では、公共施設のホールを借り、保幼小中の8つの校園所の教職員約120人が集い、中学校区合同研修会を自主開催し、今回で4回目となりました。今回の共通テーマ「こどもが学びの主人公になる学校園の取組」に基づき3つの実践発表と「こどもの主体性を引き出す学校園改革」をテーマにワークショップ型研修を行いました。幼稚園での様々な教育を起点に、小中学校の特別活動や探究活動、さらには自己調整学習や発達支持的生徒指導の在り方など校種を越えた学びの機会となりました。

○小学校長会について

小学校長会では、8月に、危機管理・セキュリティ実務研究者を講師に迎え「学校現場における『構造上の課題』を考える」をテーマに、学校におけるリスクマネジメント・カスタマーハラスメントに関わる研修を行いました。加えて、校長会として、現在、国の教育課程に関わるワーキンググループ

の取りまとめ案を参考に、「調整授業時数制度」の考え方や仕組みについて学びをスタートさせています。今後、11月には、校長会主催研修として、現在、各地のサキドリ研究校の指導にあたる京都市教育委員会の首席指導主事を講師に研修会を開催する予定です。全国のサキドリ研究校の実践から見てくる「これからの学校の姿」や「これからの学校が、何を、選び、残すのか？」などについて学ぶことにしています。

○学校行事について

2学期からの行事につきましては、自然学校を実施する学校は11校、また、20校すべての小学校が修学旅行を予定しております。加えて、2学期に校外学習を予定している学校も多くあります。10月から11月にかけては音楽会、研究発表会などの行事も控えています。また、秋になればインフルエンザの流行も始まる可能性があります。各校で、こどもたちの感染症対策にも配慮し、こどもたちが元気に行事に参加し、心に残る思い出をたくさん作ってくれることを願っております。教育委員のみなさまにも、こどもたちや教員の姿を参観いただけましたら嬉しく思います。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

○教育長 (加嶋 幸彦)

ありがとうございました。

それでは、ここからは非公開事案となりますので事務局関係者以外のご退室をお願いいたします。

《事務局関係者以外退室》

《非公開審議》

○教育長 (加嶋 幸彦)

それでは以上をもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。